

県内の景気動向

概況（2024年12月）

景気は、緩やかに拡大している（16カ月連続）

消費関連では、百貨店売上高は前年を上回る

観光関連では、入域観光客数は前年を上回る

消費関連は、消費マインドは底堅く推移しており、回復の動きが強まっていること、建設関連は、手持ち工事額は高水準で推移しており、回復の動きが強まっていること、観光関連は、修学旅行シーズンであるほか、年末年始の旅行需要により好調に推移し、拡大の動きが強まっていること、総じて県内景気は緩やかに拡大している。

先行きは、底堅い消費マインドと観光需要にけん引され、引き続き緩やかに拡大するとみられる。

消費関連

百貨店売上高は、2カ月連続で前年を上回った。催事企画による集客効果や外国客の増加などが売上増加に寄与した。スーパー売上高は、既存店・全店ベースともに31カ月連続で前年を上回った。節約志向は継続しているものの、クリスマスや年末などではケーキやオードブルなど食料品を中心に需要が高く好調に推移した。新車販売台数は、レンタカー登録台数が増加したことなどから2カ月ぶりに前年を上回った。家電大型専門店販売額（11月）は、16カ月連続で前年を上回った。

先行きは、引き続き物価の動向に注視する必要があるものの、消費マインドは底堅い推移が見込まれ、回復の動きが強まるとみられる。

建設関連

公共工事請負金額は、独立行政法人等・その他は増加したが、国、県、市町村は減少したことから2カ月連続で前年を下回った。建築着工床面積（11月）は、居住用、非居住用ともに減少したことから4カ月連続で前年を下回った。新設住宅着工戸数（11月）は、貸家、給与は増加したが、持家、分譲は減少したことから2カ月ぶりに前年を下回った。県内主要建設会社の受注額は、公共工事、民間工事ともに減少したことから2カ月連続で前年を下回った。建設資材関連では、セメントは4カ月連続で前年を下回り、生コンは4カ月ぶりに前年を上回った。鋼材売上高は5カ月連続で前年を下回り、木材売上高は4カ月連続で前年を下回った。

先行きは、建設資材の動向を注視する必要があるものの、手持ち工事額は引き続き高水準での推移が見込まれることなどから回復の動きが強まるとみられる。

観光関連

入域観光客数は、37カ月連続で前年を上回った。国内客は6カ月連続で増加し、外国客は27カ月連続で増加した。県内主要ホテルは、稼働率は9カ月連続で前年を上回り、売上高、宿泊収入ともに7カ月連続で前年を上回った。主要観光施設入場者数は34カ月連続で前年を上回った。ゴルフ場は、入場者数・売上高ともに4カ月ぶりに前年を上回った。修学旅行シーズンであるほか、年末年始の旅行需要も高く引き続き好調に推移した。

先行きは、外国からの訪日意欲が高く外国客の増加が見込まれること、スポーツキャンプなどイベントもあり国内客の増加も継続すると予想されることから、拡大の動きが強まるとみられる。

雇用関連

新規求人数（11月）は、前年同月比4.0%減と3カ月連続で前年を下回った。産業別では、宿泊業・飲食サービス業、情報通信業などで減少した。有効求人倍率（11月、季調値）は1.12倍で、前月から0.03ポイント低下した。完全失業率（11月、季調値）は3.3%と、前月から0.1ポイント低下した。

その他

消費者物価指数（11月）は、前年同月比3.6%の上昇となり、39カ月連続で前年を上回った。生鮮食品を除く総合は同3.3%の上昇となり、生鮮食品及びエネルギーを除く総合は同2.9%の上昇となった。

倒産件数は7件で前年同月から5件増加した。負債総額は4億9,100万円で、前年同月比346.4%増となった。

りゅうぎん調査（2024年12月）

増減率(%)

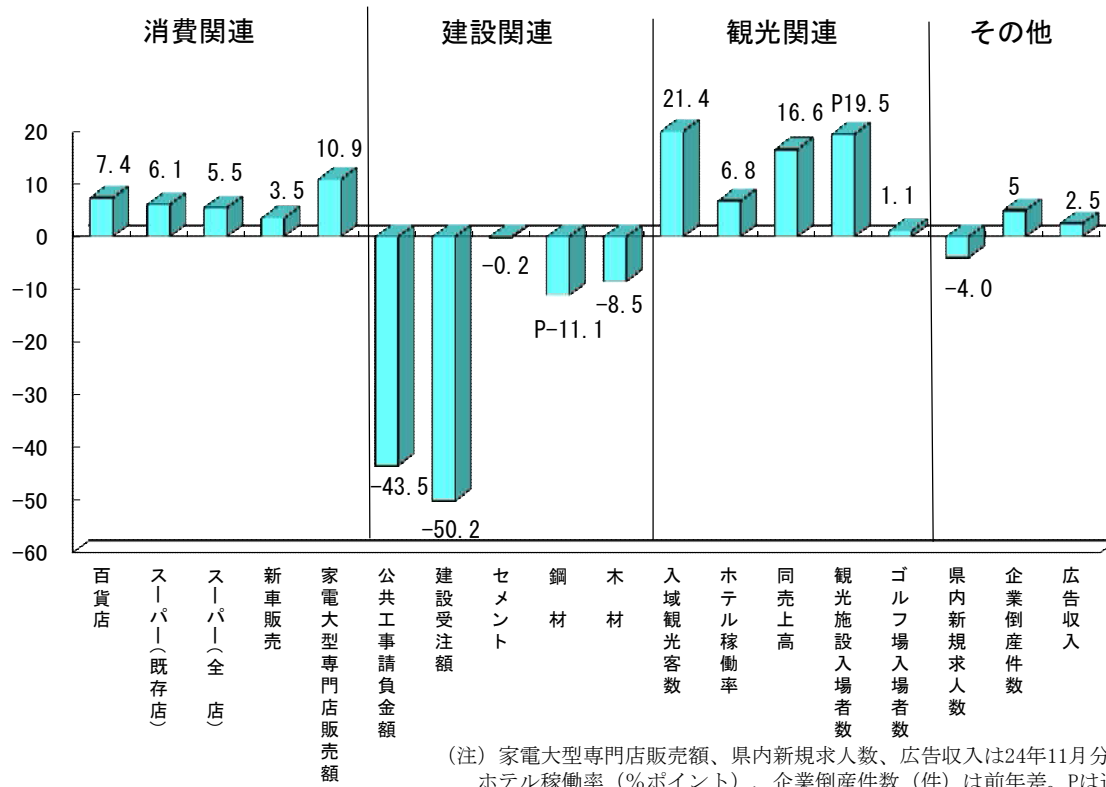
	前年同月比	前年同期比 (2024.10－2024.12)
1. 消費関連		
(1) 百貨店(金額)	7.4	5.2
(2) スーパー(既存店)(金額)	6.1	4.1
(3) スーパー(全店)(金額)	5.5	5.1
(4) 新車販売(台数)	3.5	2.5
(5) 家電大型専門店販売額(金額)	(11月) 10.9	(9-11月) 5.2
2. 建設関連		
(1) 公共工事請負金額(金額)	▲ 43.5	▲ 13.9
(2) 建築着工床面積(m ²)	(11月) ▲ 15.8	(9-11月) ▲ 25.4
(3) 新設住宅着工戸数(戸)	(11月) ▲ 2.0	(9-11月) 4.5
(4) 建設受注額(金額)	▲ 50.2	▲ 6.7
(5) セメント(トン数)	▲ 0.2	▲ 6.7
(6) 生コン(m ³)	3.8	3.5
(7) 鋼材(金額)	P ▲ 11.1	P ▲ 6.5
(8) 木材(金額)	▲ 8.5	▲ 12.6
3. 観光関連		
(1) 入域観光客数(人数)	21.4	17.0
うち外国客数(人数)	107.1	86.8
(2) 県内主要ホテル稼働率	(前年同月差) 6.8	(前年同期差) 8.0
	(実数) 58.9	(実数) 65.9
(3) "売上高(金額)	16.6	14.0
(4) 観光施設入場者数(人数)	P 19.5	P 11.6
(5) ゴルフ場入場者数(人数)	1.1	▲ 5.5
(6) "売上高(金額)	6.7	0.8
4. その他		
(1) 県内新規求人数(人数)	(11月) ▲ 4.0	(9-11月) ▲ 6.1
(2) 有効求人倍率(季調値)	(11月) 1.12	(9-11月) 1.13
(3) 消費者物価指数(総合)	(11月) 3.6	(9-11月) 3.3
(4) 企業倒産件数(件数)	(前年同月差) 5	(前年同期差) 9
(5) 広告収入(県内マスコミ)(金額)	(11月) 2.5	(9-11月) 1.7

(注1) 公共工事請負金額は西日本建設業保証株式会社沖縄支店調べ。建築着工床面積、新設住宅着工戸数は国土交通省調べ。県内新規求人数、有効求人倍率は沖縄労働局調べ。入域観光客数、消費者物価指数は沖縄県調べ。

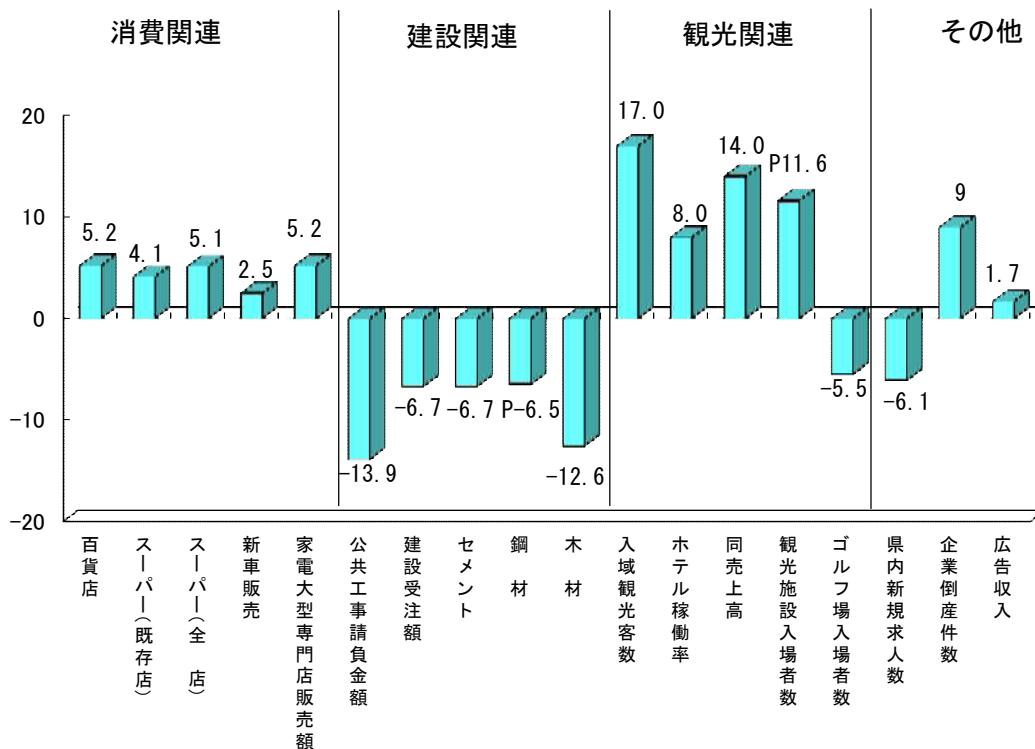
企業倒産件数は東京商工リサーチ沖縄支店調べ。Pは速報値。

(注2) 有効求人倍率(季調値)と県内新規求人数(人数)は、就業地ベース。

項目別グラフ(単月、2024年12月)

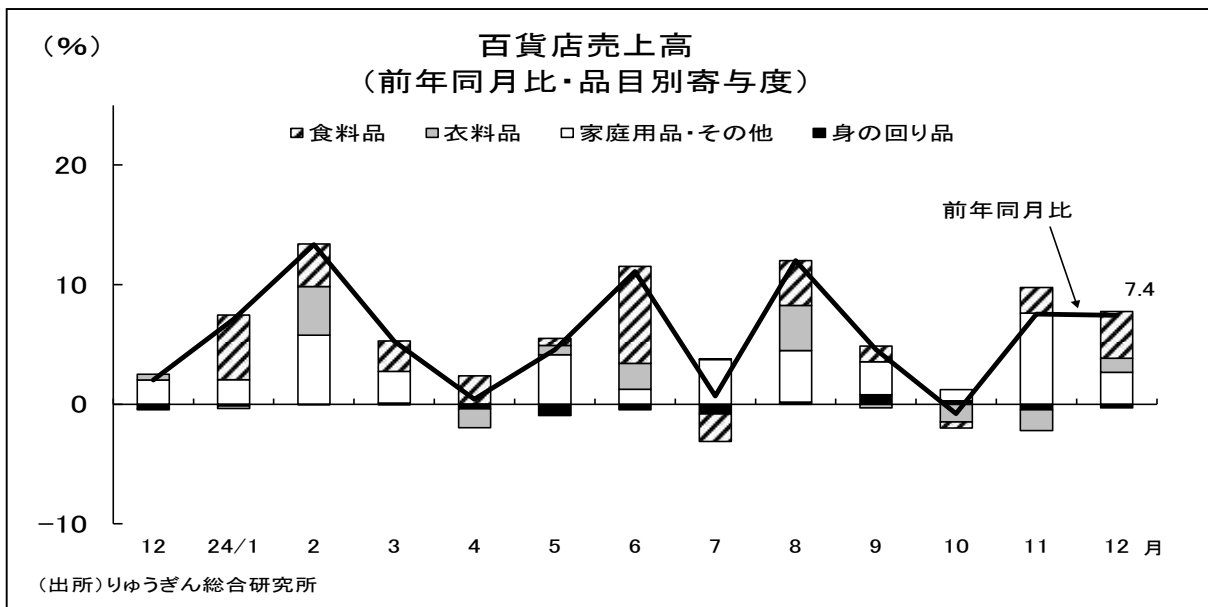


項目別グラフ(3カ月、2024年10月~2024年12月)



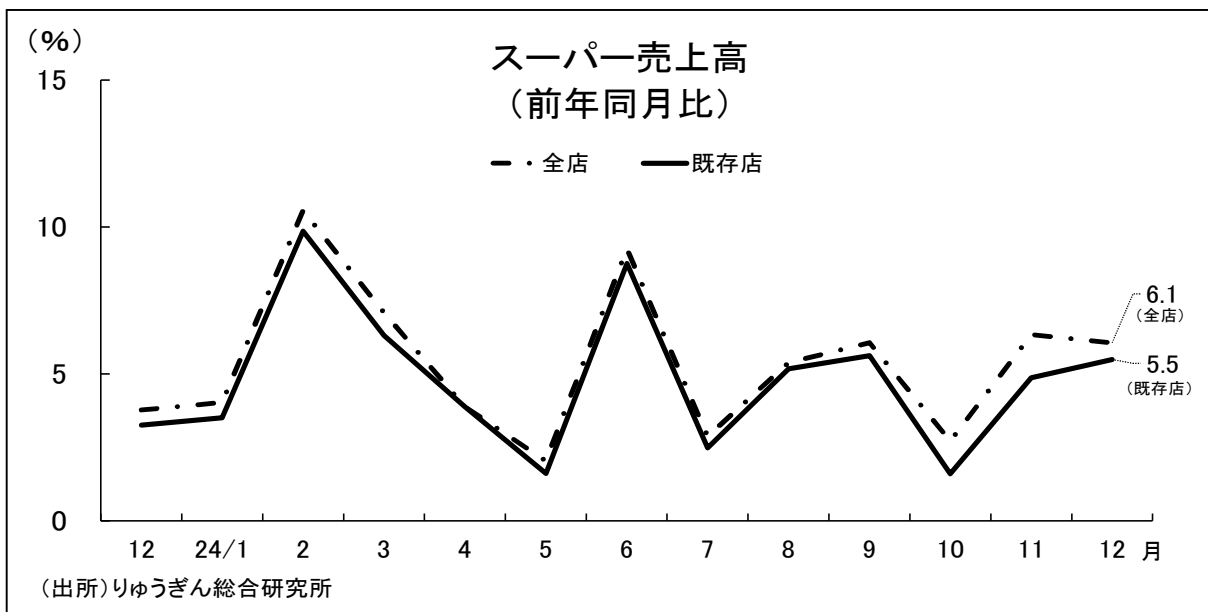
1. 消費関連

(1) 百貨店売上高：2カ月連続で増加



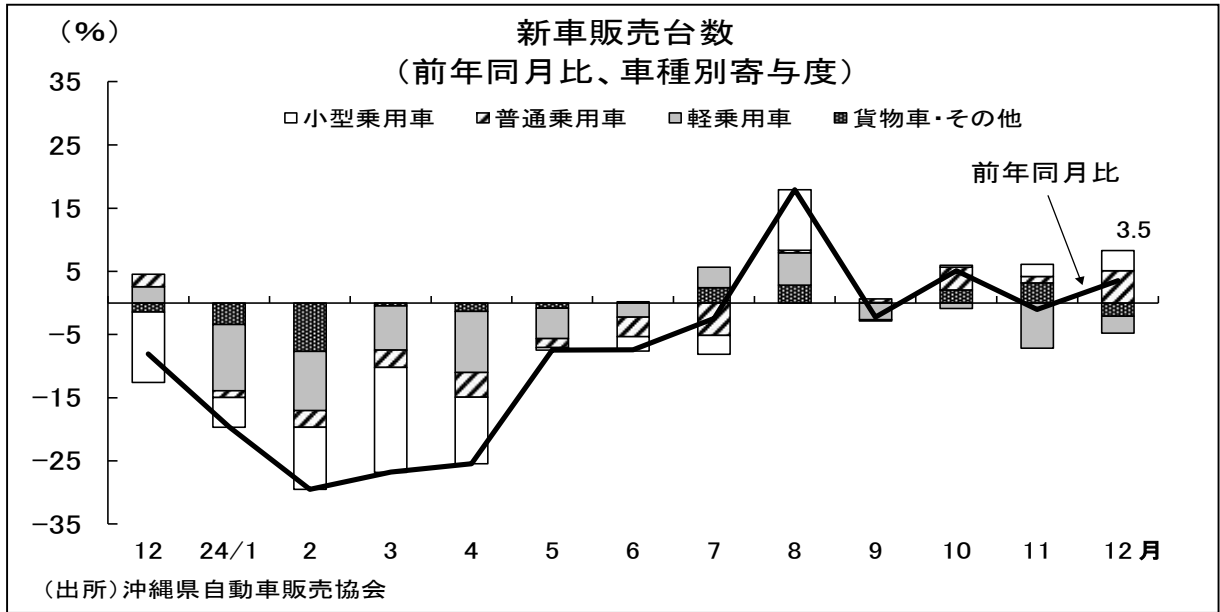
- 百貨店売上高は、前年同月比 7.4%増と 2 カ月連続で前年を上回った。
- 物価高騰等の影響によりお歳暮需要は低調な動きとなったものの、催事企画による集客効果や外国客の増加などにより、全体では来店客数、買上点数ともに前年を上回り、売上が増加した。
- 品目別にみると、食料品が同 9.6%増、衣料品が同 4.5%増、家庭用品・その他が同 9.9%増、身の回り品が同 5.3%減となった。

(2) スーパー売上高：既存店・全店ともに 31 カ月連続で増加



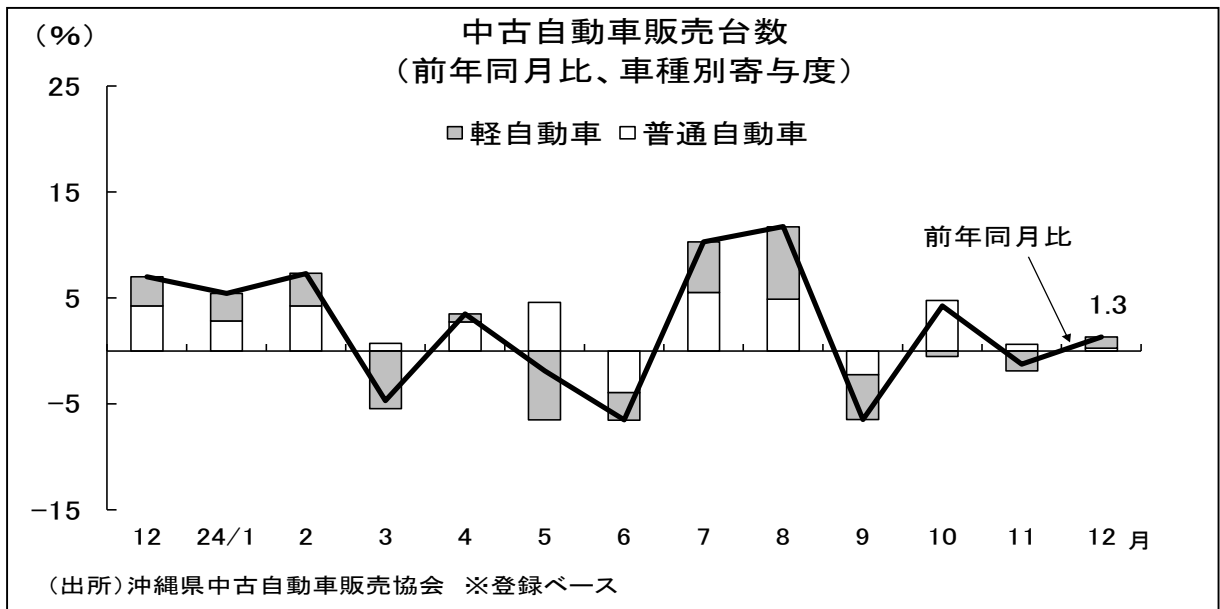
- スーパー売上高は、既存店ベースは前年同月比 5.5%増と 31 カ月連続で前年を上回った。
- 節約志向が継続しており買上点数は減少傾向にあるものの、クリスマスや年末などでは人が集まる機会が増加し、ケーキやオードブルなど食料品を中心に需要が高く好調に推移した。
- 品目別にみると、食料品が同 4.8%増、衣料品が同 9.0%増、住居関連が同 7.9%増となった。
- 全店ベースは同 6.1%増と 31 カ月連続で前年を上回った。

(3) 新車販売台数：2カ月ぶりに増加



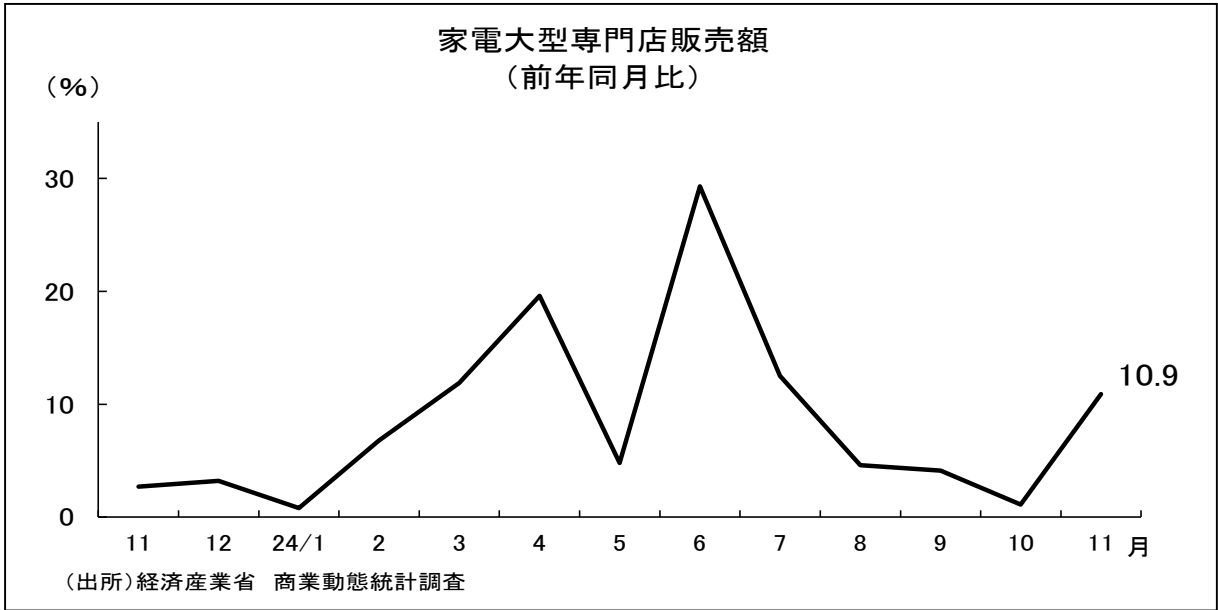
- ・ 新車販売台数は3,479台で前年同月比3.5%増と2カ月ぶりに前年を上回った。
- ・ 軽自動車は減少したものの、レンタカー登録台数の増加などが全体を押し上げた。
- ・ 車種別にみると、普通自動車（登録車）は1,883台（前年同月比20.6%増）で、うち普通乗用車は1,648台（同20.3%増）、小型乗用車は715台（同17.4%増）であった。軽自動車（届出車）は1,596台（同11.3%減）で、うち軽乗用車は1,322台（同6.3%減）であった。

(4) 中古自動車販売台数（登録ベース）：2カ月ぶりに増加



- ・ 中古自動車販売台数（普通自動車及び軽自動車の合計、登録ベース）は、1万8,195台で前年同月比1.3%増と2カ月ぶりに前年を上回った。
- ・ 内訳では、普通自動車が7,383台（前年同月比0.7%増）、軽自動車が1万812台（同1.8%増）となった。

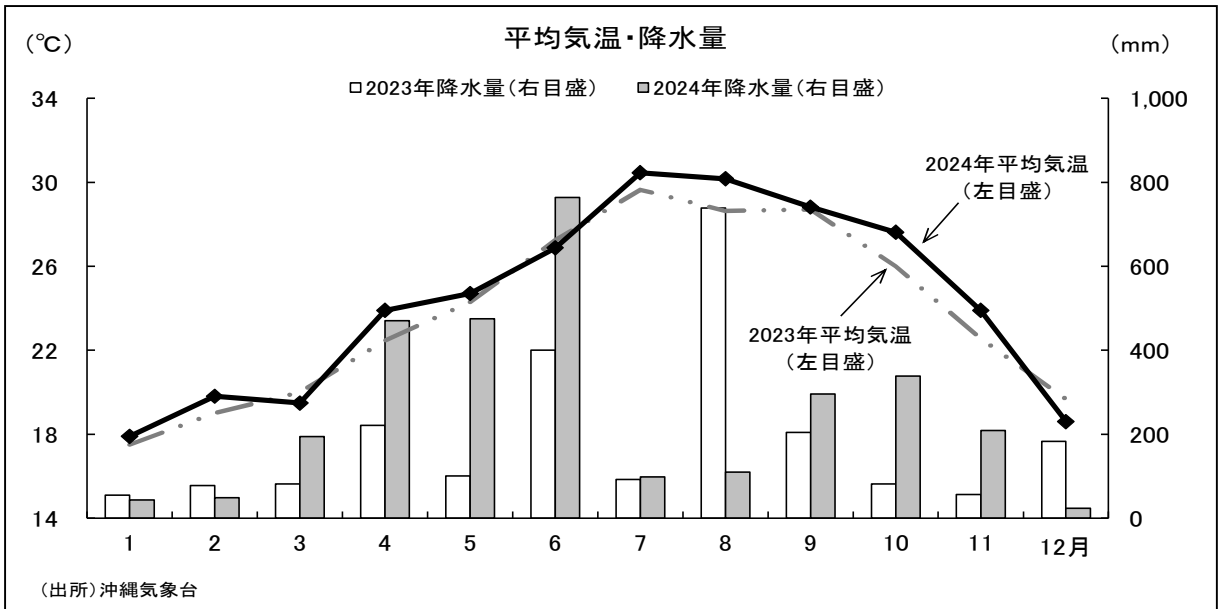
(5) 家電大型専門店販売額：16 カ月連続で増加



- ・ 家電大型専門店販売額（11月）は、前年同月比10.9%増と16カ月連続で前年を上回った。
- ・ 値上げによる単価上昇に加え、県による補助事業「おきなわ省エネ家電買換応援キャンペーン」により省エネ性能の高いエアコンや冷蔵庫などを中心に好調となったほか、免税では理美容家電が好調となった。

(参考)

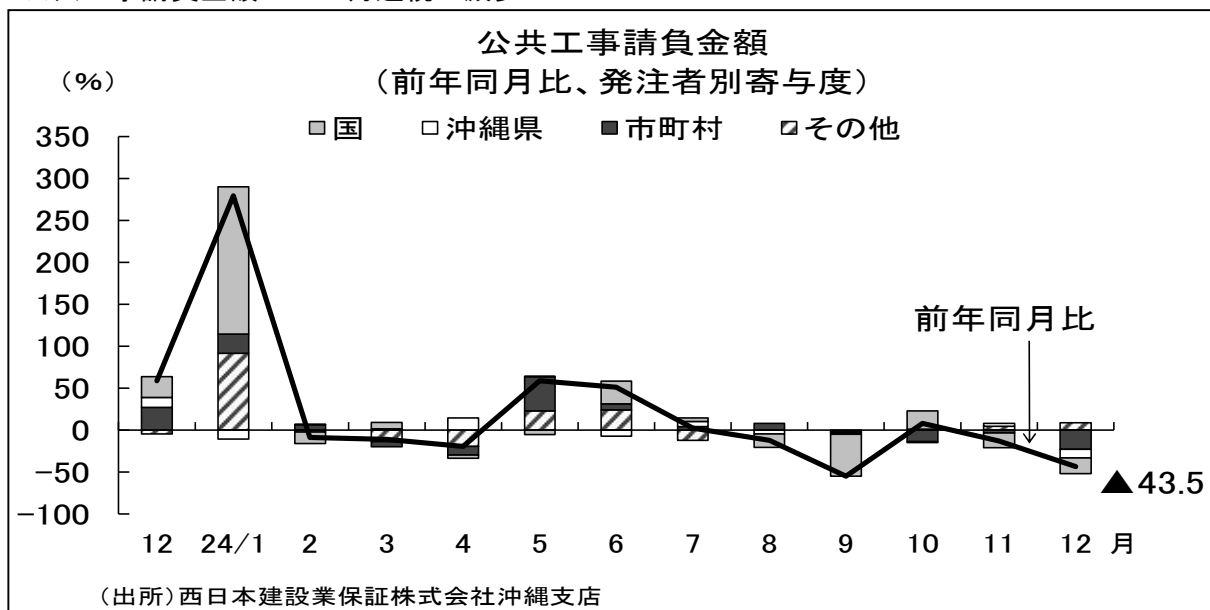
◇ 気象：平均気温・降水量（那覇）



- ・ 平均気温は18.6℃で前年同月（19.7℃）より低く、降水量は23.5mmで前年同月（183.0mm）より少なかった。
- ・ 沖縄地方は、上旬は高気圧に覆われて晴れた日が多かったが、中旬から下旬にかけて気圧の谷や大陸の高気圧の張り出しに伴う寒気の影響で曇りや雨となった所があった。
- ・ 平均気温、日照時間は平年並み、降水量は平年よりかなり少なかった。

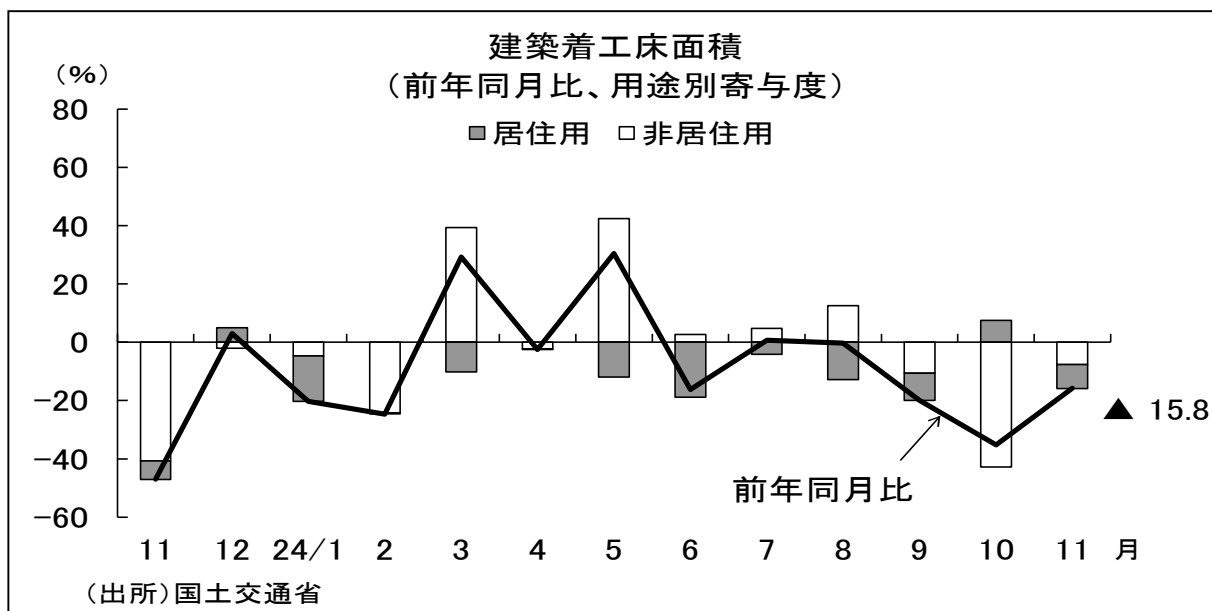
2. 建設関連

(1) 公共工事請負金額：2カ月連続で減少



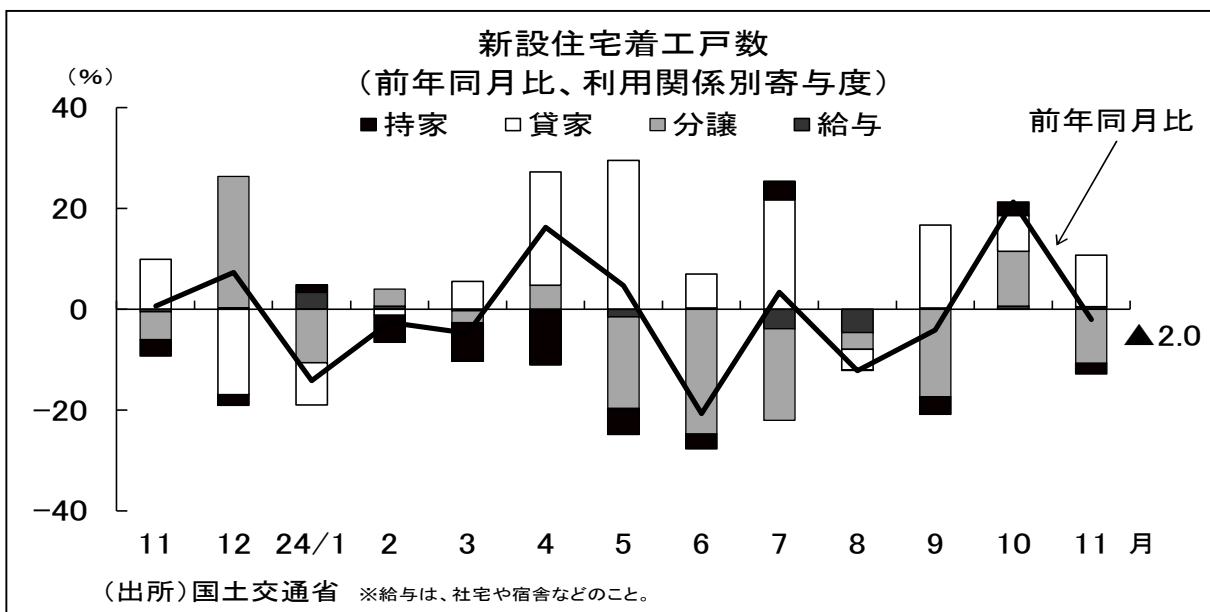
- 公共工事請負金額は、100億62百万円で前年同月比43.5%減となり、2カ月連続で前年を下回った。
- 発注者別では、独立行政法人等・その他は同631.6%増となり、国は同57.9%減、県は同41.2%減、市町村は同55.3%減となった。

(2) 建築着工床面積：4カ月連続で減少



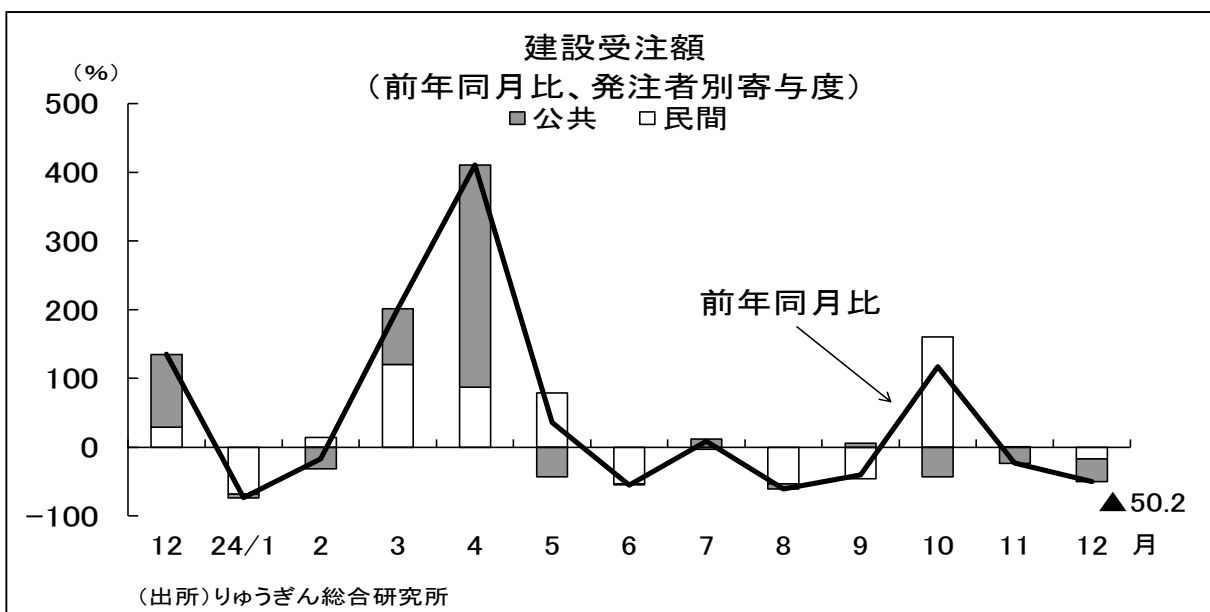
- 建築着工床面積（11月）は7万4,794㎡で前年同月比15.8%減と4カ月連続で前年を下回った。居住用は同11.4%減となり、非居住用は同26.9%減となった。
- 建築着工床面積を用途別（大分類）にみると、居住用では居住専用、居住産業併用ともに減少した。非居住用では、運輸業用などが増加し、卸売・小売業用、その他のサービス業用などが減少した。

(3) 新設住宅着工戸数：2カ月ぶりに減少



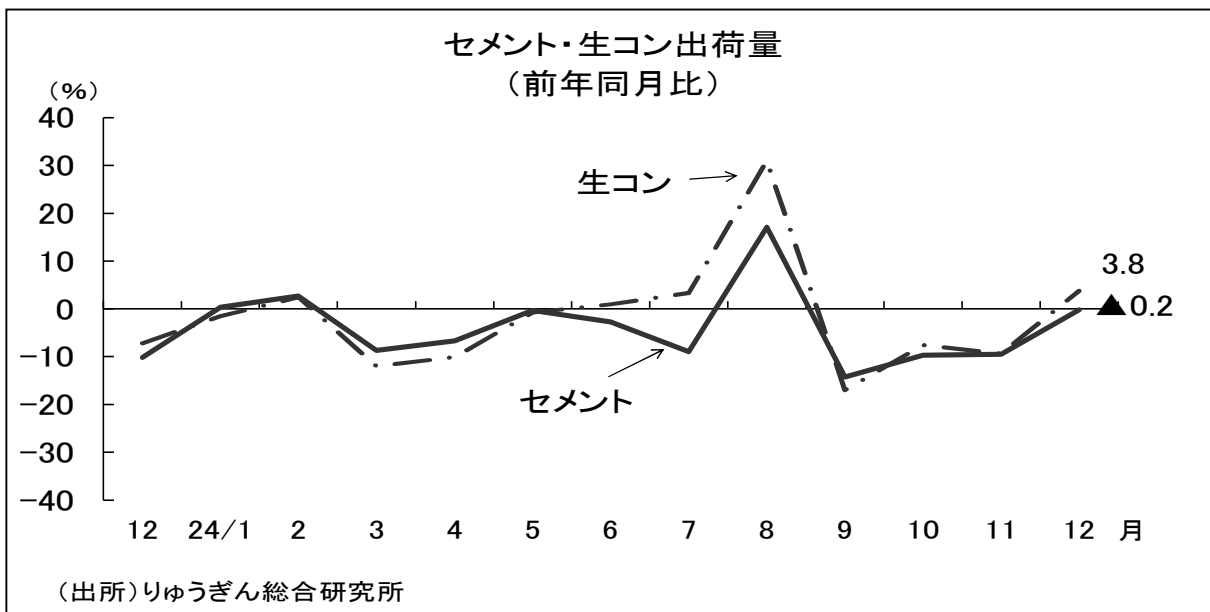
- ・ 新設住宅着工戸数（11月）は766戸で前年同月比2.0%減と2カ月ぶりに前年を下回った。
- ・ 利用関係別では、貸家（480戸）が同20.0%増、給与（4戸）が全増となり、持家（176戸）が同8.3%減、分譲（106戸）が同44.2%減となった。

(4) 建設受注額：2カ月連続で減少



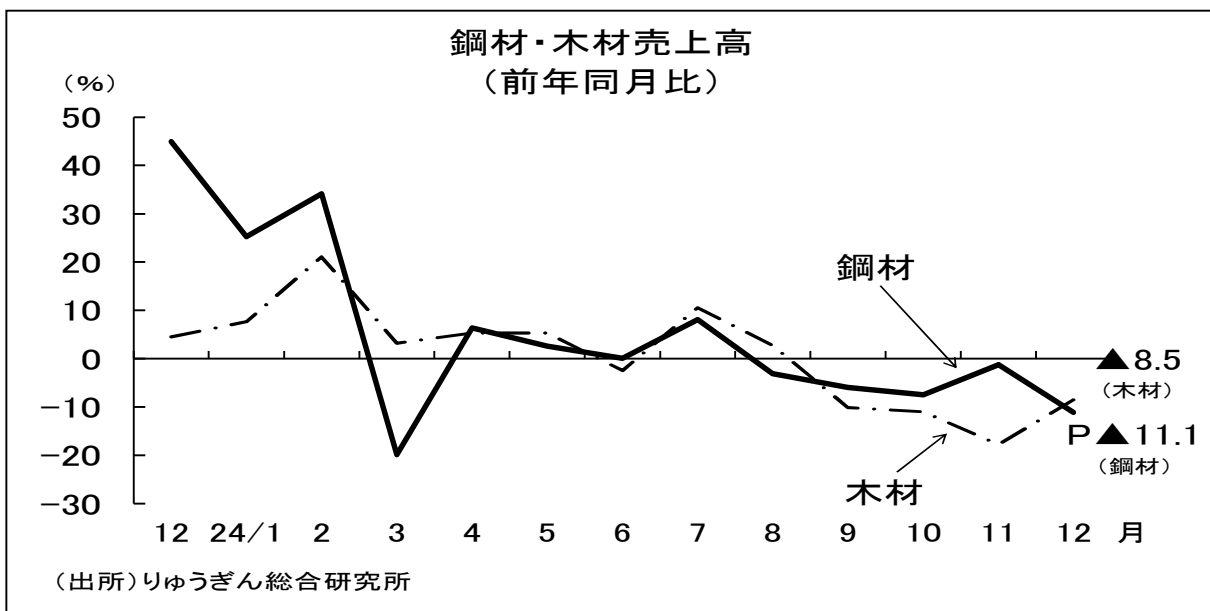
- ・ 建設受注額（調査先建設会社：17社）は前年同月比50.2%減と2カ月連続で前年を下回った。
- ・ 発注者別では、公共工事は同59.7%減と3カ月連続で減少し、民間工事は同38.3%減と3カ月ぶりに減少した。

(5) セメント・生コン：セメントは4カ月連続で減少、生コンは4カ月ぶりに増加



- ・セメント出荷量は6万4,201トンとなり、前年同月比0.2%減と4カ月連続で前年を下回った。
- ・生コン出荷量は11万2,795m³で同3.8%増と4カ月ぶりに前年を上回った。生コン出荷量を出荷先別にみると、公共工事では、米軍工事向け、橋梁関連向けなどが増加し、公営住宅向けなどが減少した。民間工事では、ホテル向け、店舗向けなどが増加し、個人住宅向けなどが減少した。

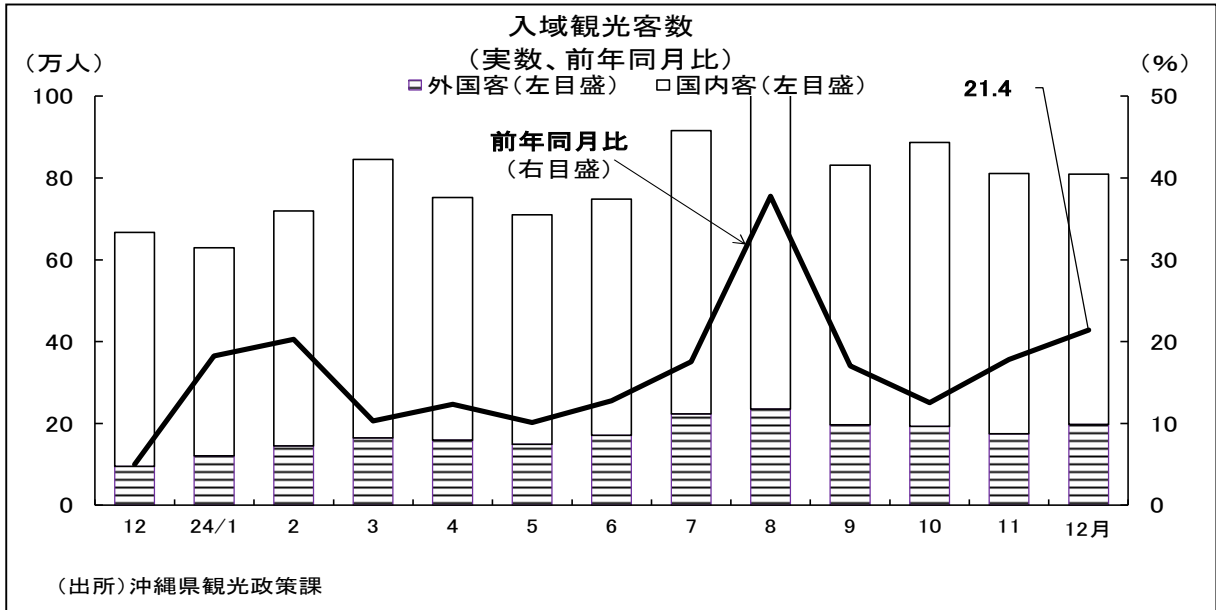
(6) 鋼材・木材：鋼材は5カ月連続で減少、木材は4カ月連続で減少



- ・鋼材売上高（速報値）は、出荷量が減少したこと、鋼材価格が下降したことなどから前年同月比11.1%減と5カ月連続で前年を下回った。
- ・木材売上高は、出荷量が減少したこと、木材価格が下降したことなどから同8.5%減と4カ月連続で前年を下回った。

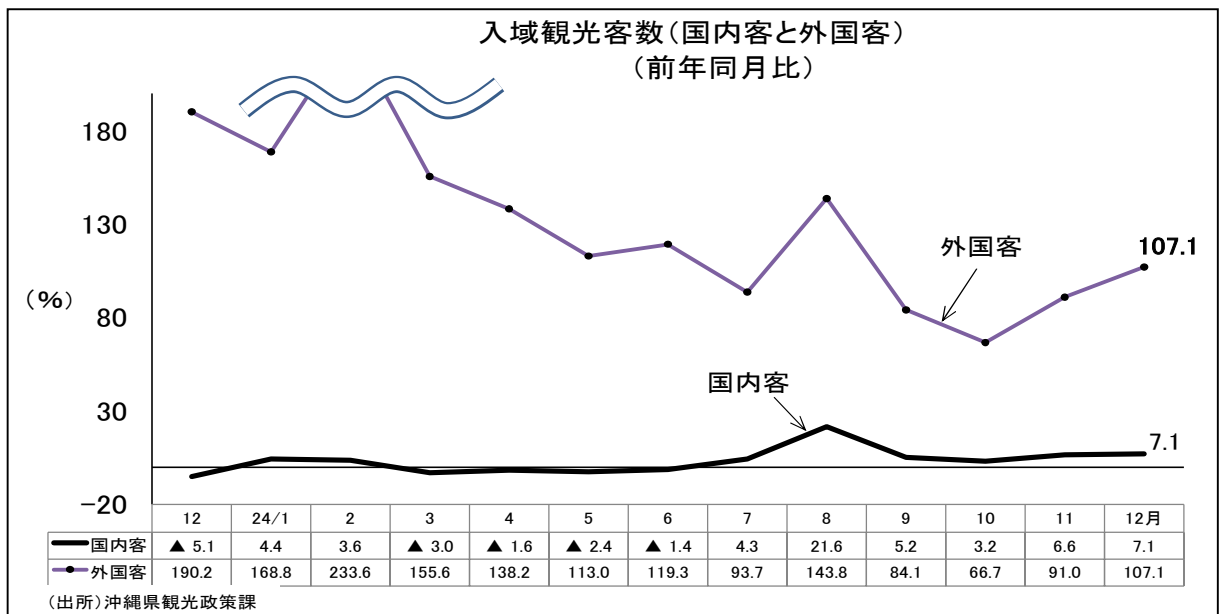
3. 観光関連

(1) 入域観光客数：37カ月連続で増加



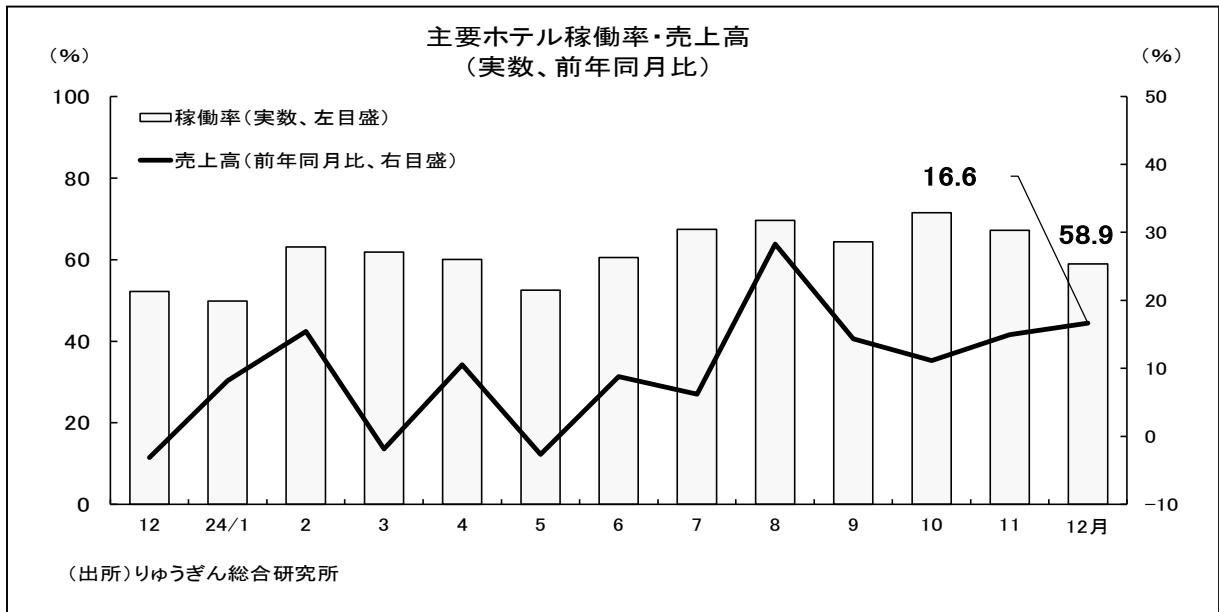
- 入域観光客数は、80万9,500人（前年同月比21.4%増）となり、37カ月連続で前年を上回った。
- 路線別では、空路は74万1,400人（同13.1%増）となり37カ月連続で前年を上回った。海路は6万8,100人（同508.0%増）となり29カ月連続で前年を上回った。

(2) 入域観光客数（国内客、外国客）：国内客は6カ月連続で増加、外国客は27カ月連続で増加



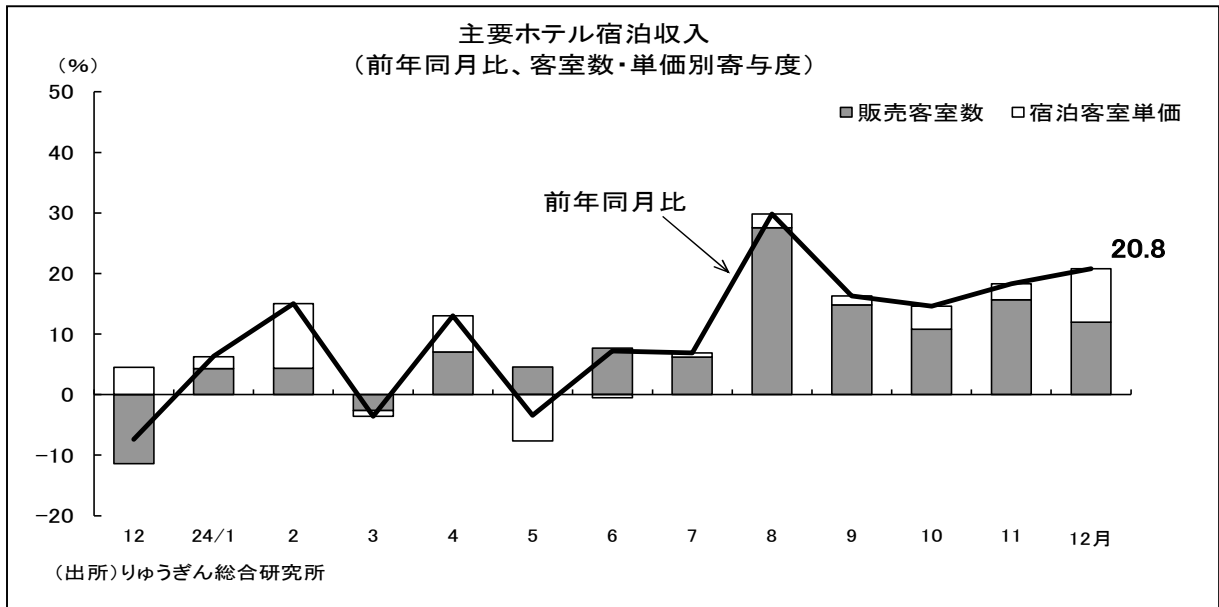
- 国内客は、61万2,300人（前年同月比7.1%増）となり、6カ月連続で前年を上回った。外国客は19万7,200人（同107.1%増）となり、27カ月連続で増加した。
- 修学旅行シーズンであったことや、クリスマスや年末年始の旅行需要の高まりから、国内客・外国客ともに増加した。

(3) 主要ホテル稼働率・売上高：稼働率は9カ月連続で上昇、売上高は7カ月連続で増加



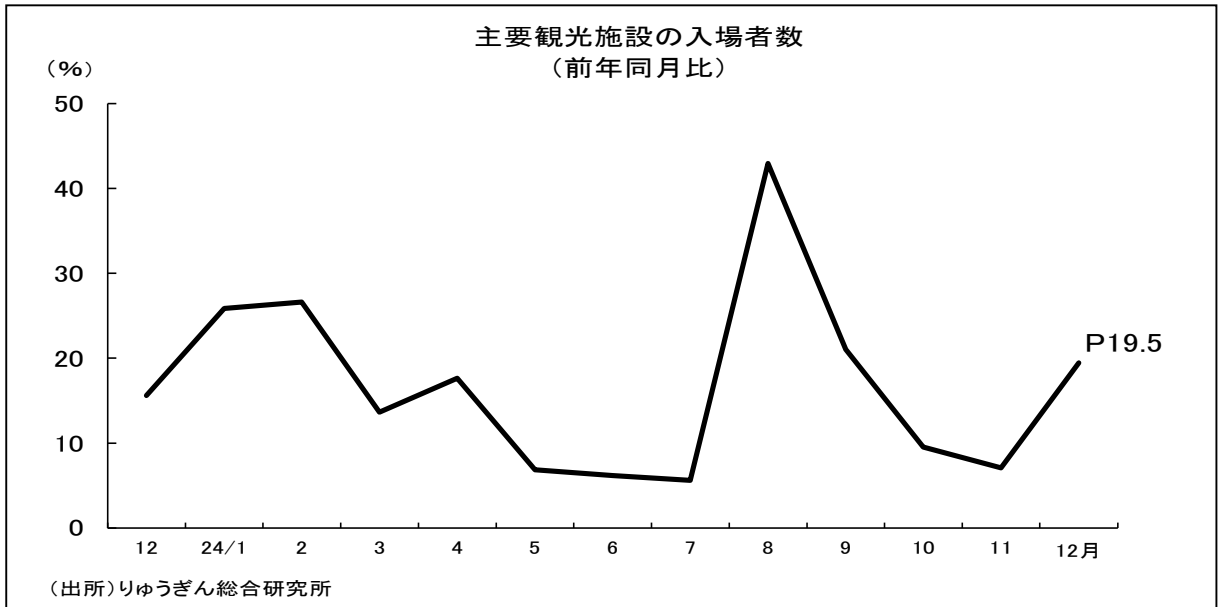
- ・ 主要ホテルの客室稼働率は58.9%と前年同月差6.8%ポイント上昇し9カ月連続で前年を上回り、売上高は前年同月比16.6%増となり、7カ月連続で前年を上回った。
- ・ 那覇市内ホテルの客室稼働率は73.0%と同9.1%ポイント上昇し、12カ月連続で前年を上回り、売上高は同20.9%増と13カ月連続で前年を上回った。
- ・ リゾート型ホテルの客室稼働率は53.7%と同5.6%ポイント上昇し9カ月連続で前年を上回り、売上高は同15.5%増と7カ月連続で前年を上回った。

(4) 主要ホテル宿泊収入：7カ月連続で増加



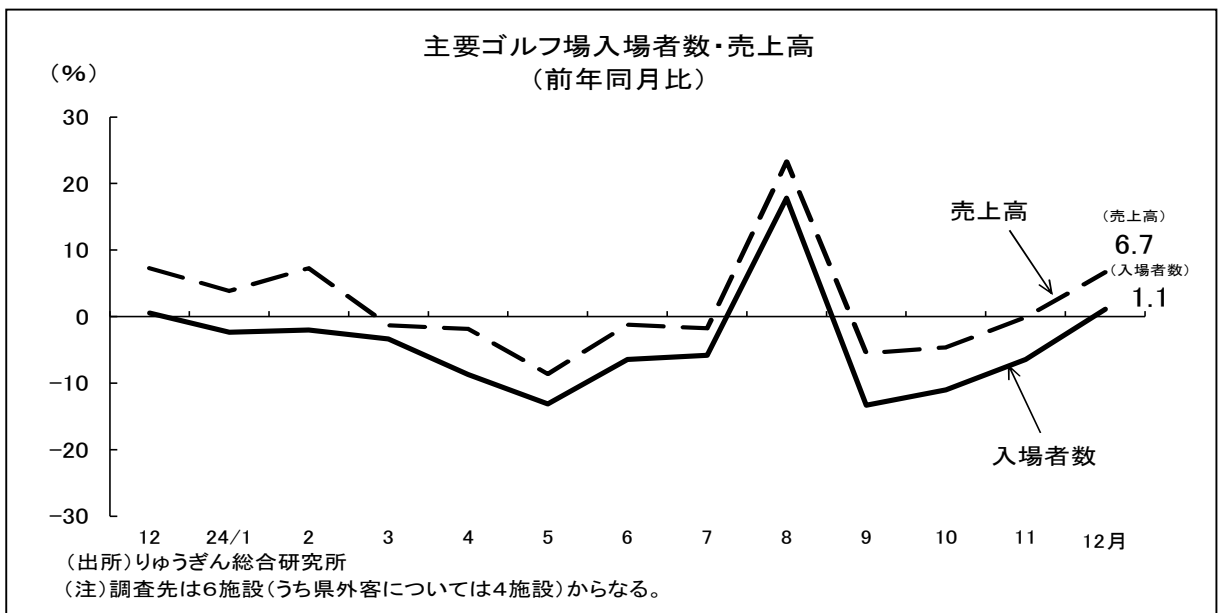
- ・ 主要ホテルの売上高のうち宿泊収入は、販売客室数（数量要因）が増加、宿泊客室単価（価格要因）も上昇し、前年同月比20.8%増と7カ月連続で前年を上回った。
- ・ 那覇市内ホテルは、販売客室数が増加、宿泊客室単価も上昇し、同26.7%増となり13カ月連続で前年を上回った。
- ・ リゾート型ホテルは、販売客室数が増加、宿泊単価も上昇し、同19.4%増となり7カ月連続で前年を上回った。

(5) 主要観光施設の入場者数：34 カ月連続で増加



- ・ 主要観光施設（速報値）の入場者数は、前年同月比 19.5%増と 34 カ月連続で前年を上回った。
- ・ 修学旅行シーズンに加え、家族旅行や個人・グループ旅行が好調に推移したほか、クルーズ客の来訪もみられた。

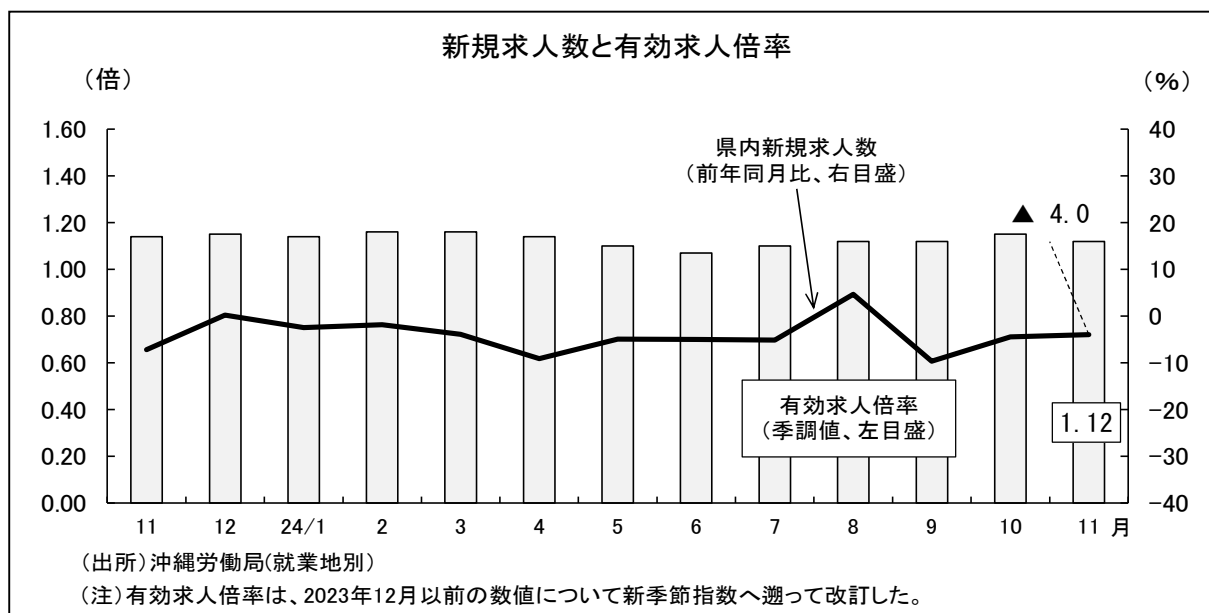
(6) 主要ゴルフ場入場者数・売上高：入場者数、売上高ともに4 カ月ぶりに増加



- ・ 主要ゴルフ場の入場者数は、前年同月比 1.1%増と 4 カ月ぶりに前年を上回った。県内客は 4 カ月連続で前年を下回り、県外客は 2 カ月連続で前年を上回った。売上高は同 6.7%増と 4 カ月ぶりに前年を上回った。
- ・ ゴルフシーズンにより県外客の増加に加え、外国客の増加が顕著となり、売上高も好調に推移した。

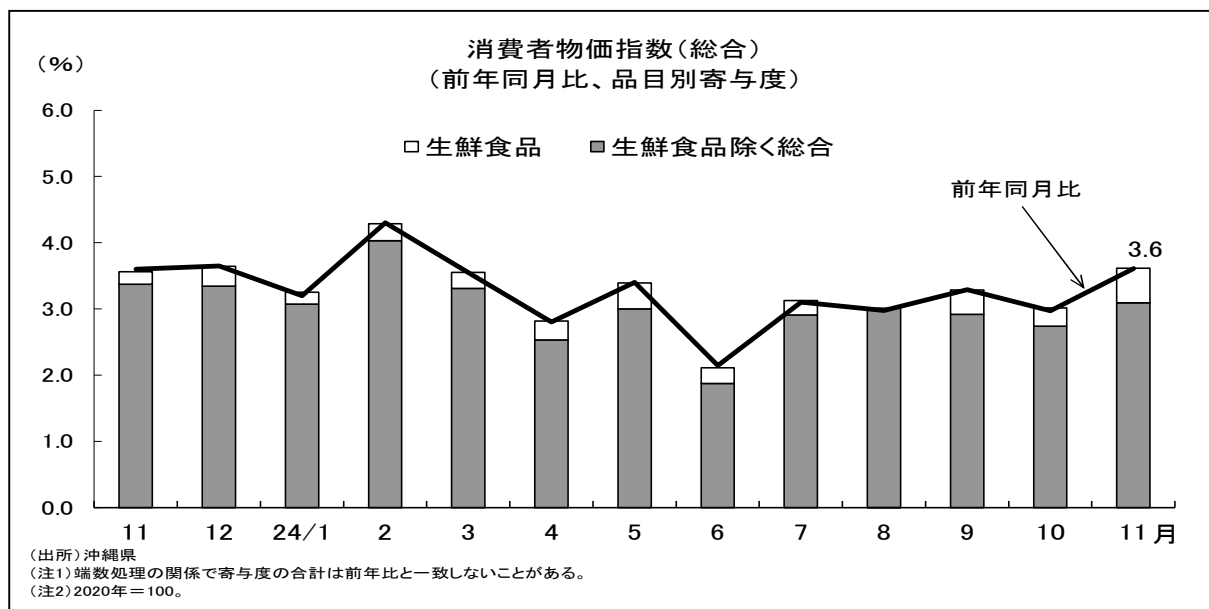
4. その他

(1) 雇用関連（再掲）：新規求人数は減少、有効求人倍率（季調値）は低下



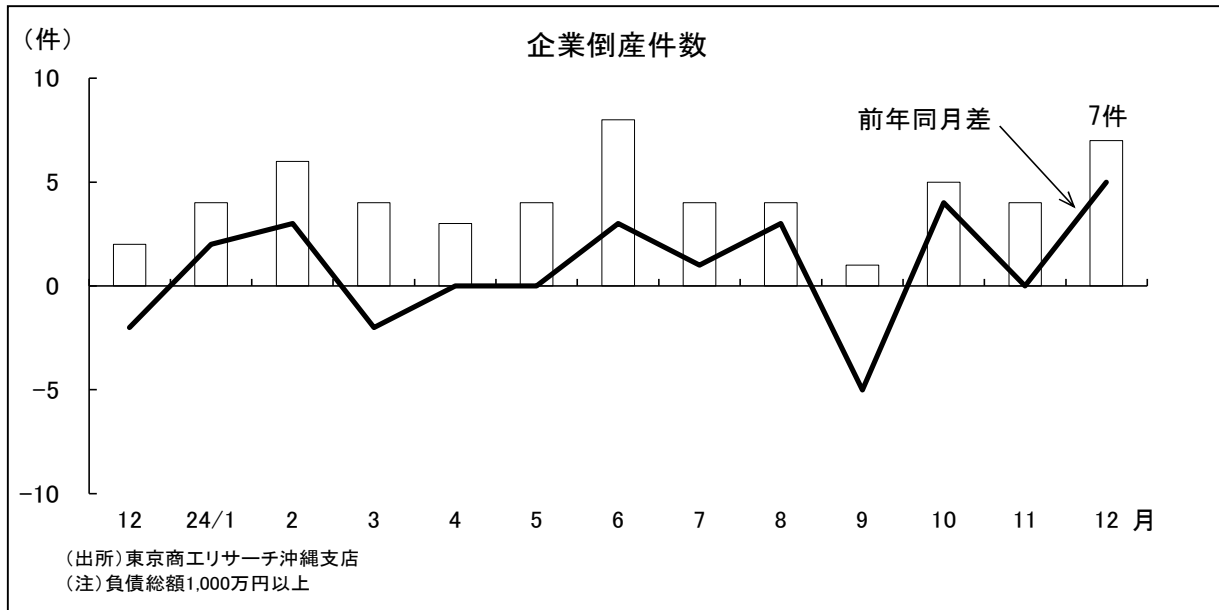
- 新規求人数（11月）は、前年同月比 4.0%減と3カ月連続で前年を下回った。産業別では、宿泊業・飲食サービス業、情報通信業などで減少した。有効求人倍率（11月、季調値）は 1.12 倍で、前月から 0.03 ポイント低下した。
- 労働力人口（11月）は、80万4,000人で前年同月比 1.1%増となり、就業者数は、78万人で同 1.0%増となった。完全失業者数は2万4,000人で同 4.3%増となり、完全失業率（11月、季調値）は 3.3%と、前月から 0.1 ポイント低下した。

(2) 消費者物価指数（再掲）：39カ月連続で上昇



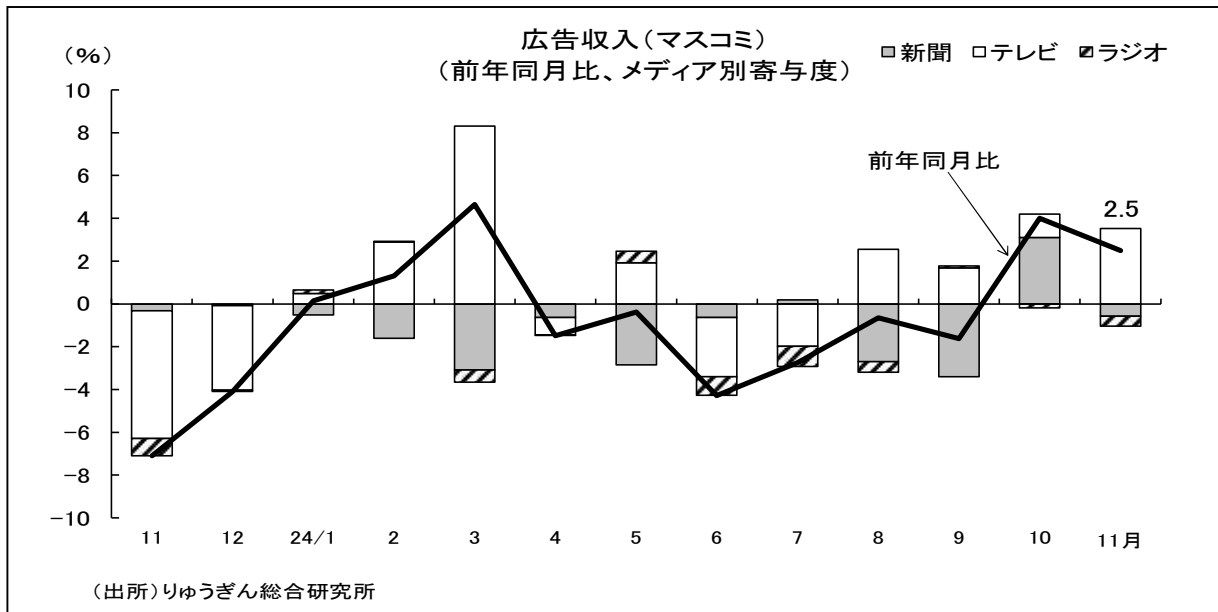
- 消費者物価指数（11月）は、前年同月比 3.6%の上昇となり、39カ月連続で前年を上回った。生鮮食品を除く総合は同 3.3%の上昇となり、生鮮食品及びエネルギーを除く総合は同 2.9%の上昇となった。
- 費目別の動きをみると、食料、光熱・水道などすべての費目で上昇した。

(3) 企業倒産：件数、負債総額ともに増加



- ・ 倒産件数は7件で前年同月から5件増加した。業種別では、建設業が1件、製造業が1件、情報通信業が1件、サービス業他が4件となった。
- ・ 負債総額は4億9,100万円で、前年同月比346.4%増となった。

(4) 広告収入（マスコミ）：2カ月連続で増加



- ・ 広告収入（マスコミ：11月）は、前年同月比2.5%増と2カ月連続で前年を上回った。
- ・ 秋の行楽シーズンでイベントや旅行関連の広告需要がみられた。

沖縄県内の主要金融経済指標

沖縄県内の主要金融経済指標(その1)

暦年	百貨店 売上高	スーパー 売上高 (既存店)	スーパー 売上高 (全店)	家電大型 専門店 販売額	新車販売 台数	中古自動 車販売台 数	公共工事請負額		建築着工床面積	
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	百万円	前年比	千平米	前年比
2022	5.2	2.0	2.5	1.3	▲ 1.2	▲ 7.9	340,357	▲ 1.2	1,519	▲ 3.3
2023	8.4	5.5	6.1	▲ 0.8	19.2	3.6	425,816	25.1	1,337	▲ 12.0
2024	6.0	4.9	5.4	-	▲ 9.3	1.5	405,602	▲ 4.7	-	-
2023 11	5.3	5.1	5.4	2.7	6.1	3.5	30,627	78.9	89	▲ 47.0
12	2.0	3.2	3.8	3.2	▲ 8.1	7.0	17,812	58.8	139	3.0
2024 1	7.1	3.5	4.0	0.8	▲ 19.7	5.4	42,164	279.4	78	▲ 20.3
2	13.3	9.9	10.6	6.8	▲ 29.5	7.3	53,986	▲ 9.1	75	▲ 24.6
3	5.2	6.3	7.2	11.9	▲ 26.8	▲ 4.7	75,459	▲ 11.1	104	29.2
4	0.4	3.9	3.9	19.6	▲ 25.4	3.5	14,227	▲ 19.5	108	▲ 2.5
5	4.5	1.6	2.0	4.8	▲ 7.5	▲ 1.9	22,412	58.7	150	30.4
6	11.1	8.7	9.3	29.3	▲ 7.4	▲ 6.5	34,088	51.0	134	▲ 16.2
7	0.7	2.5	2.9	12.5	▲ 2.5	10.3	45,309	2.2	99	0.7
8	12.0	5.2	5.4	4.6	17.9	11.7	23,591	▲ 12.5	96	▲ 0.3
9	4.6	5.6	6.1	4.1	▲ 2.2	▲ 6.5	33,001	▲ 55.1	86	▲ 19.9
10	▲ 0.8	1.6	2.7	1.1	5.1	4.2	24,622	7.7	94	▲ 35.3
11	7.5	4.9	6.3	10.9	▲ 1.0	▲ 1.2	26,680	▲ 12.9	75	▲ 15.8
12	7.4	5.5	6.1	-	3.5	1.3	10,062	▲ 43.5	-	-
出所	りゅうぎん総合研究所調べ				自販協	中古 自販協	西日本建設業保証 沖縄支店		国土交通省	

注) 新車販売台数の出所は沖縄県自動車販売協会、中古自動車販売台数は沖縄県中古自動車販売協会。

暦年	新設住宅着工戸数		建設 受注額	セメント 出荷数量	生コン 出荷数量	鋼材 売上高	木材 売上高	手持ち 工事額	建設関連 DI (単月)	建設関連 DI (3カ月移 動平均)
	戸	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	指数	指数	指数
2022	9,179	▲ 5.1	21.0	▲ 1.3	0.5	10.3	9.0	-	-	-
2023	10,183	10.9	32.4	0.6	▲ 0.1	14.6	▲ 2.5	-	-	-
2024	-	-	▲ 10.4	▲ 4.1	▲ 2.4	P0.4	▲ 0.1	-	-	-
2023 11	782	0.6	50.7	6.4	14.4	35.5	▲ 0.5	250.5	▲ 10.7	▲ 0.1
12	1,102	7.3	135.0	▲ 10.1	▲ 7.2	44.9	4.5	263.5	7.1	0.0
2024 1	768	▲ 14.2	▲ 73.8	0.4	▲ 1.5	25.2	7.6	263.7	▲ 7.1	▲ 3.6
2	640	▲ 2.6	▲ 17.0	2.7	2.5	34.2	21.1	261.1	0.0	0.0
3	638	▲ 4.8	201.5	▲ 8.7	▲ 12.0	▲ 19.8	3.2	290.1	▲ 10.7	▲ 6.0
4	852	16.2	410.7	▲ 6.7	▲ 10.1	6.4	5.3	288.0	▲ 3.6	▲ 4.8
5	804	4.7	36.0	▲ 0.3	▲ 0.8	2.6	5.3	290.6	0.0	▲ 4.8
6	962	▲ 20.7	▲ 55.1	▲ 2.7	1.0	0.1	▲ 2.5	281.5	0.0	▲ 1.2
7	955	3.4	8.6	▲ 9.0	3.3	8.1	10.5	277.0	▲ 14.3	▲ 4.8
8	744	▲ 12.2	▲ 61.0	17.0	31.0	▲ 3.1	2.7	300.1	▲ 3.7	▲ 6.0
9	810	▲ 4.1	▲ 40.4	▲ 14.2	▲ 17.0	▲ 5.9	▲ 10.1	305.2	▲ 3.4	▲ 7.1
10	906	21.3	117.1	▲ 9.7	▲ 7.6	▲ 7.5	▲ 11.0	299.2	▲ 3.4	▲ 3.5
11	766	▲ 2.0	▲ 23.2	▲ 9.5	▲ 9.3	▲ 1.3	▲ 17.8	299.9	0.0	▲ 2.3
12	-	-	▲ 50.2	▲ 0.2	3.8	P▲ 11.1	▲ 8.5	288.7	0.0	▲ 1.1
出所	国土交通省		りゅうぎん総合研究所調べ							

注) 手持ち工事額は、2015年平均=100とする。

沖縄県内の主要金融経済指標(その2)

暦年	入域観光客数		入域観光客数のうち外国客		ホテル稼働率(実数)		ホテル売上高(前年比)		観光施設入場者数	ゴルフ場入場者数
	千人	前年比	千人	前年比	市内	リゾート	市内	リゾート	前年比	前年比
2022	5,697.8	88.9	47.7	100.0	46.9	43.4	92.9	104.3	134.1	4.7
2023	8,235.1	44.5	986.3	1,967.7	57.4	56.0	40.8	33.3	63.0	3.3
2024	9,661.5	17.3	2,125.5	115.4	68.7	59.8	24.5	9.3	16.0	▲ 4.9
2023 11	688.0	11.9	90.9	651.2	57.8	57.4	▲ 6.1	▲ 1.4	23.9	▲ 0.1
12	666.6	5.0	95.1	189.9	63.9	47.7	3.8	▲ 4.8	15.6	0.5
2024 1	629.1	18.2	120.3	168.5	58.9	46.4	15.9	6.4	25.9	▲ 2.3
2	719.2	20.3	144.8	233.6	72.0	59.8	18.8	14.5	26.6	▲ 2.0
3	845.1	10.3	164.1	155.6	69.7	58.8	10.1	▲ 4.1	13.6	▲ 3.4
4	749.3	11.9	158.9	138.2	63.5	58.4	26.6	8.0	17.6	▲ 8.7
5	707.5	9.7	148.5	91.1	55.5	51.3	17.6	▲ 5.6	6.9	▲ 13.1
6	744.5	12.2	166.9	44.9	64.4	59.0	19.5	7.0	6.2	▲ 6.4
7	912.0	17.1	219.7	90.7	70.5	65.9	26.6	4.0	5.6	▲ 5.8
8	1,003.8	37.8	235.0	143.8	72.7	62.6	39.5	9.6	43.0	17.8
9	831.0	17.0	196.2	84.1	70.3	62.1	35.4	11.4	21.0	▲ 13.3
10	886.7	12.5	192.3	66.6	76.2	69.7	30.2	8.1	9.6	▲ 11.0
11	810.8	17.8	174.0	91.0	77.5	63.4	33.2	11.0	7.1	▲ 6.5
12	809.5	21.4	197.2	107.1	73.0	53.7	20.9	15.5	19.5	1.1
出所	県文化観光スポーツ部 観光政策課				りゅうぎん総合研究所調べ					

暦年	企業倒産件数	負債総額		消費者物価指数	失業率(季調値)	就業者数	有効求人倍率(季調値)	新規求人数(県内)	広告収入
	件	百万円	前年比	前年比	%	前年比	倍	前年比	前年比
2022	34	6,120	▲ 44.3	2.8	3.3	2.1	0.98	22.5	▲ 2.9
2023	40	3,398	▲ 44.5	3.7	3.3	1.7	1.16	7.5	▲ 2.6
2024	54	5,479	61.2	-	-	-	-	-	-
2023 11	4	239	218.7	3.6	3.2	3.1	1.11	▲ 7.2	▲ 7.1
12	2	110	▲ 82.2	3.6	2.9	1.3	1.13	0.2	▲ 4.1
2024 1	4	416	225.0	3.2	2.8	1.2	1.14	▲ 2.4	0.1
2	6	157	▲ 63.5	4.3	2.8	1.7	1.16	▲ 1.8	1.3
3	4	113	▲ 22.1	3.5	3.3	1.1	1.16	▲ 3.9	4.6
4	3	188	▲ 36.1	2.8	3.9	0.8	1.14	▲ 9.1	▲ 2.2
5	4	55	▲ 92.0	3.4	3.3	1.9	1.10	▲ 5.0	▲ 0.4
6	8	1,879	735.1	2.1	2.9	0.1	1.07	▲ 5.0	▲ 4.3
7	4	1,099	647.6	3.1	3.3	2.0	1.10	▲ 5.1	▲ 2.9
8	4	201	905.0	3.0	2.8	3.7	1.12	4.7	▲ 0.7
9	1	56	▲ 92.7	3.3	3.5	1.4	1.12	▲ 9.7	▲ 1.6
10	5	537	168.5	3.0	3.4	▲ 1.3	1.15	▲ 4.5	4.0
11	4	287	20.1	3.6	3.3	1.0	1.12	▲ 4.0	2.5
12	7	491	346.4	-	-	-	-	-	-
出所	東京商工リサーチ沖縄支店			県企画部統計課		沖縄労働局		りゅうぎん総研調べ	

注) 消費者物価指数は、2021年7月より2020年=100に改定された。

注) 失業率と有効求人倍率は、2023年12月以前の数値について新季節指数へ遡って改訂した。

注) 有効求人倍率(季調値)と新規求人数は、就業地ベース。

沖縄県内の主要金融経済指標(その3)

年度	銀行券 発行額	銀行券 還収額	銀行券 増減 (▲還収超)	貸出 金利 (地銀3行)	県内金融機関 の預金残高 (末残)		地銀3行預金量 (信託勘定含む末残)		地銀3行融資量 (信託勘定含む末残)	
	億円	億円	億円	%	億円	前年比	億円	前年比	億円	前年比
2022FY	2,581	3,453	▲ 873	1.332	60,834	3.6	60,065	3.5	41,959	2.3
2023FY	2,533	3,903	▲ 1,492	1.318	62,838	3.3	62,058	3.3	43,558	3.8
2024FY	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2023 11	258	352	▲ 93	1.328	62,021	2.4	61,242	2.4	41,766	1.2
12	352	181	170	1.318	61,973	2.3	61,202	2.2	42,233	1.9
2024 1	148	500	▲ 352	1.320	61,654	2.5	60,873	2.4	42,248	1.9
2	161	178	▲ 139	1.317	61,590	2.3	60,821	2.1	42,428	1.9
3	183	362	▲ 179	1.297	62,838	3.3	62,058	3.3	43,558	3.8
4	246	307	▲ 61	1.317	63,353	2.4	62,633	2.4	42,615	2.7
5	166	489	▲ 323	1.321	63,137	2.1	62,331	2.0	42,700	2.8
6	152	316	▲ 164	1.317	63,609	2.5	62,838	2.6	42,858	3.1
7	659	527	132	1.314	63,442	1.8	62,633	1.7	43,166	3.7
8	279	584	▲ 305	1.311	63,652	2.2	62,812	2.1	43,433	4.5
9	201	381	▲ 179	1.316	63,344	1.8	62,606	1.8	43,566	4.2
10	242	492	▲ 250	1.373	62,937	1.7	62,115	1.5	43,558	4.6
11	208	362	▲ 154	1.374	63,526	2.4	62,719	2.4	43,885	5.1
12	-	-	-	-	-	-	62,829	2.7	43,933	4.0
出所	日本銀行那覇支店				日本銀行本店		沖縄県銀行協会			

注) 銀行券増減は、端数調整により一致しない場合がある。

注) 貸出金利は、暦年ベース。

年度	沖縄振興開発 金融公庫融資量 (末残)		沖縄県信用保証協会 債務残高(末残)		鉱工業生産指数 (季調値)		通関 輸出	通関 輸入
	億円	前年比	億円	前年比	2015年=100	前年比	百万円	百万円
2022FY	10,667	2.3	3,006	0.0	-	-	75,417	302,815
2023FY	10,197	▲ 4.4	2,919	▲ 2.9	-	-	52,671	288,310
2024FY	-	-	-	-	-	-	-	-
2023 11	10,285	▲ 4.3	2,954	▲ 1.2	77.0	13.2	7,894	50,581
12	10,241	▲ 4.6	2,946	▲ 1.7	73.3	4.3	1,380	12,960
2024 1	10,203	▲ 4.9	2,936	▲ 2.2	83.7	11.6	2,138	14,788
2	10,211	▲ 4.8	2,924	▲ 2.4	84.2	11.3	1,691	16,725
3	10,197	▲ 4.4	2,919	▲ 2.9	80.7	4.4	16,581	10,902
4	10,144	▲ 4.5	2,885	▲ 3.4	76.5	6.2	4,260	20,379
5	10,079	▲ 4.6	2,856	▲ 4.1	74.4	2.2	2,123	19,958
6	10,018	▲ 4.6	2,841	▲ 4.4	72.5	▲ 0.6	7,384	25,091
7	9,905	▲ 5.4	2,831	▲ 4.7	75.5	7.2	3,042	55,228
8	9,877	▲ 4.0	2,810	▲ 5.2	70.9	3.1	2,076	38,014
9	9,811	▲ 4.2	2,792	▲ 5.7	71.3	▲ 9.4	1,810	12,758
10	9,678	▲ 6.2	2,788	▲ 5.6	74.0	1.5	2,062	14,711
11	9,631	▲ 6.4	2,778	▲ 6.0	-	-	1,968	24,723
12	9,600	▲ 6.3	2,761	▲ 6.3	-	-	2,040	45,032
出所	沖縄振興開発金融 公庫		沖縄県信用保証協会		県企画部統計課		沖縄地区税関	

注) 県内金融機関の預金残高は、19年2月分より日本銀行(本店)ホームページ上で公表している県内預金合計に遡及改訂した。

注) 鉱工業生産指数は暦年ベース。暦年値、前年比は原指数の増減率。2019年4月より2015年=100に改定された。

注) 貿易概況は、暦年ベース。